

## 令和4年度優秀教職員の表彰について

### (1) 優秀教職員制度の概要

- ・ 学習指導や生徒指導等の教育分野のうち特定の分野において創意にあふれ特色ある指導を実践し、顕著な教育効果をあげており、他の教職員の模範となる教職員（個人及び組織）を表彰する。
- ・ このうち、特に継続的な実践で成果をあげ、他の教員の指導力向上に寄与している教職員は、「ティーチャー オブ ティーチャーズ (TOT)」として表彰する。
- ・ 表彰により功績を称え、被表彰者のスキル・経験等を適切に活用することで、教職員全体の意欲と資質の向上を図る。
- ・ 令和2年度から、将来さらに顕著な成果をあげることが期待される者を表彰するため、「若手教職員等奨励賞」を新設した。

### (2) 令和4年度の被表彰者

ティーチャー オブ ティーチャーズ (TOT)	5名
優秀教職員 (組織)	2校
優秀教職員 (個人)	16名
優秀教職員 (若手教職員等奨励賞)	2名

※ 被表彰者の一覧及びTOT表彰理由は別添資料のとおりです。ぜひ御取材ください。  
(取材の際は各所属校に御連絡ください)

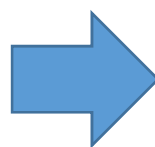
※ ティーチーチャー オブ ティーチャーズ (TOT) の表彰式を11月18日 (金) 15:00より、県庁23階教育庁西側会議室で実施する予定です。

### (3) 表彰基準

- |                     |                                    |
|---------------------|------------------------------------|
| ① 学習指導              | ⑥ 幼児教育                             |
| ② 生徒指導・進路指導等        | ⑦ 地域との協働の推進、学校事務の機能強化<br>など学校運営の改善 |
| ③ 部活動指導             | ⑧ ユネスコ活動や国際交流等                     |
| ④ 学校体育・学校保健及び学校給食指導 | ⑨ 働き方改革に関する業務改善等                   |
| ⑤ 特別支援教育            | ⑩ その他学校において模範となる指導                 |

### (4) 今後の活用

- 教職員研修における講師
- 近隣校や希望校での模擬授業や講義
- 指導案や実践報告等を配信・共有
- 指導事例集等の執筆・編集
- 各種部活動指導者講習会における講師



教職員全体の  
資質向上

#### <問い合わせ先>

教育庁学校教育部	教育改革課	人事制度改革・採用担当 (029-301-5208)
	義務教育課	人事担当 (029-301-5220)
	高校教育課	人事担当 (029-301-5256)
	特別支援教育課	人事・計画担当 (029-301-5275)

## 令和4年度 TOT及び優秀教職員一覧 ※○数字は若手教職員等奨励賞

	No.	校種	学校名	職名	氏名	性別	年齢	表彰内容	TOT	優秀
TOT	1	中学校	常陸太田市立瑞竜中学校	教諭	細川 雅行	男	42	学習指導	○	○
	2	小学校	つくば市立沼崎小学校	教諭	鈴木 はる代	女	48	学習指導	○	○
	3	小学校	桜川市立雨引小学校	教諭	口町 紀子	女	49	学習指導	○	○
	4	中等教育学校	茨城県立並木中等教育学校	教諭	吉村 大介	男	46	学習指導	○	○
	5	特別支援学校	茨城県立北茨城特別支援学校	教諭	椎名 幸由紀	女	49	特別支援教育	○	
組織	6	小学校	行方市立玉造小学校	/	教職員一同	/	/	学習指導		○
	7	特別支援学校	茨城県立水戸特別支援学校	/	教職員一同	/	/	特別支援教育		○
優秀教職員	8	小学校	水戸市立三の丸小学校	教諭	安藤 美樹	女	53	学習指導		○
	9	小学校	日立市立大みか小学校	教諭	宮本 留美子	女	49	特別支援教育		○
	10	小学校	北茨城市立精華小学校	養護教諭	野田 瑞穂	女	48	学校体育、学校保健、学校給食		○
	11	中学校	神栖市立神栖第二中学校	教諭	梅田 邦彦	男	42	学習指導		○
	12	小学校	取手市立戸頭小学校	教諭	神社 裕子	女	50	特別支援教育		○
	13	中学校	阿見町立竹来中学校	教諭	小野 静香	女	49	特別支援教育		○
	14	小学校	筑西市立竹島小学校	教諭	飯嶋 美由紀	女	48	学習指導		○
	15	小学校	結城市立絹川小学校	養護教諭	大島 寛美	女	40	学校体育、学校保健、学校給食		○
	16	中学校	境町立境第一中学校	係長	小泉 敦志	男	45	地域との協働推進、学校事務の機能強化、働き方改革に関する業務改善		○
	17	高等学校	茨城県立小瀬高等学校	教諭	金子 容子	女	46	学習指導		○
	18	高等学校	茨城県立水戸第一高等学校	教諭	太田 泰助	男	47	生徒指導、進路指導		○
	⑱	高等学校	茨城県立笠間高等学校	教諭	武本 夏子	女	31	学習指導		○
	20	高等学校	茨城県立鉾田第一高等学校	教諭	土屋 和佳	女	49	学習指導		○
	㉑	高等学校	茨城県立石岡第二高等学校	教諭	岩崎 啓子	女	35	学習指導		○
	22	高等学校	茨城県立取手第一高等学校	教諭	茂木 孝允	男	44	学習指導、その他		○
23	高等学校	茨城県立下妻第二高等学校	教諭	北條 奈緒美	女	38	学習指導、地域との協働		○	
24	特別支援学校	茨城県立伊奈特別支援学校	教諭	根崎 順子	女	49	特別支援教育、学校保健		○	
25	特別支援学校	茨城県立つくば特別支援学校	教諭	菅野 真吾	男	46	特別支援教育		○	

※ NO. 5については、過去に優秀教職員として表彰されており、今回TOTへの推薦により候補者となっている。

※ 年齢は令和4年4月1日現在

## 令和4年度 ティーチャー オブ ティーチャーズ (TOT)

No	学校名	職名	氏名	年齢	該当	実践内容及びその成果
1	常陸太田市立瑞竜中学校	教諭	ホソカワ マサユキ 細川 雅行	42歳	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科において、社会への参画意識の醸成と主体的に考える力の育成について研究した。常に子供の思いを大切にし、「自分で考え、自分で決める」を授業づくりに取り組んでいる。特に新聞を活用しながら考えさせることや、ICTを活用して、より自分事としてとらせさせる授業を展開し生徒が、より自分事として捉えられるようになり社会への参画意識が高まった。</li> <li>・関東ブロック中学校社会科研究大会やNIE全国大会で実践発表をするなど、県内の社会科教育の充実・発展に寄与している。</li> <li>・社会科のみならず、県の人権教育に係る授業公開、教科をつなぐカリキュラムマネジメント推進など広い視野に立って活躍している。</li> </ul>
2	つくば市立沼崎小学校	教諭	スズキ はる代 鈴木 はる代	48歳	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度春日学園義務教育学校開校とともに赴任し英語教育において、9年間の学びの連続性を意識した英語教育を実践し、特に他校でも実践できるように体系化したことで子どもの英語力向上と教師の指導力向上に寄与した。</li> <li>・市内研修会等で数多くの授業公開を行い、専門的な知識や技能を積極的に広め、指導に不安をもつ多くの担任にとって、模範となっている。</li> <li>・コロナ禍の中、海外の学校とオンラインで交流を行ったり、積極的にICT機器を取り入れた指導を実践したりなど教職員の指導力向上に貢献している。</li> <li>・県内外で、各種研修会の講師とし活躍したり、実践が教育雑誌等に多数紹介されたりするなど英語教育の充実・発展に寄与している。</li> </ul>
3	桜川市立雨引小学校	教諭	クサマテ コノ 口町 紀子	49歳	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科において「考え、議論する道徳の授業スタイル」(パッケージ型ユニット学習)について研究し、より効果が上がるようブラッシュアップを図り他教科・領域と関連付けながら効果的な指導に努めている。</li> <li>・道徳教育に高い専門性をもち、自作教材を用いた創意ある魅力的な授業展開に努め、他の教職員の模範となっている。</li> <li>・県教研連での発表や、県教育研究会に論文を応募(道徳部門)し優良賞を受賞するなど県の道徳教育の充実・発展に寄与している。</li> <li>・平成29年度から県教育研修センター「教育専門員」として、また、他市主催の研究会等でも講師として活躍し人材育成にも貢献している。</li> </ul>
4	茨城県立並木中等教育学校	教諭	ヨシムラ ダイスケ 吉村 大介	46歳	学習指導	<p>【課題探究】○生徒一人一探究(4~6年次)。全教員で指導。中心となり牽引、全生徒の状況を把握し担当教員へ指導のアドバイス。優秀作品をプレゼンするSSH成果発表会を運営 ○課題探究アドバイザー：県内外4高校を指導</p> <p>【SSH事業】○SSH2期の高評価、3期計画の文科省採択に大きく貢献 ○3期事業を今年度から全校体制で開始。本教諭の大学担当者との連絡調整、教員への説明による。 ○SSH3期に先行、昨年度から市内研究所インターンシップ、SSHサポーター事業、卒業生メンター制度、夏休み研究交流会実施に尽力 ○研究者等外部講師のSSH講座・SSHサイエンスカフェ(H26~)：8年間86講座</p> <p>【その他】○「生徒発信プロジェクト」：アドバイス・支援。 ○科学研究部顧問：科学の甲子園全国大会、日本学生科学賞、科学オリンピック等で活躍多数。</p>
5	茨城県立北茨城特別支援学校	教諭	シイナ サユキ 椎名 幸由紀	49歳	特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任コーディネーターとして、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の支援に関する情報提供や支援体制の構築にも尽力している。</li> <li>・特に令和2年から令和3年の間に3回開催した県北地区特別支援教育コーディネーター研修会では、実務責任者として、講義・演習等を取り入れながら高等学校のコーディネーターの不安や疑問と向き合い、高等学校と特別支援学校の連携を深めた。結果、高等学校からの巡回相談が増加するなど、地域の教育機関との信頼関係を築き、センター的機能をはたしている。</li> <li>・校内においても若手教員・ベテラン問わず多くの教員から相談依頼があり、その一つ一つのケースに丁寧に耳を傾け、クラスに向かい実際に児童生徒と接する中から具体的な支援方法を提案するなど、他の教員の模範となっている。</li> </ul>